

# 寺田 悦子

Etsuko Terada (Piano)

寺田悦子オフィシャル・ホームページ <http://www.etsukoterada.com/>

(プロフィールにはホームページアドレスを記載していただきますよう、お願い申し上げます。)

<イ長調><変ロ長調><ハ短調>と3回に亘って開催されたユニークな企画、一晚の曲目をすべて同じ「調」の作品で構成し、作曲家や時代でどう違って聴こえるのかを聴き比べる”調の秘密”シリーズ、ショパンとシューマンの生誕200周年記念イヤーを中心に展開した、ショパンのマズルカ&ノクターン全曲とシューマンの代表作を年代を追って演奏する全5回のリサイタル、モーツァルト生誕250周年記念ピアノ・ソナタ全曲演奏(全4夜)、ショパン作品によるプレ・トーク付きのコンサート、2003年ロシア芸術祭でのロシア作曲家の代表作品でのソロとデュオのリサイタル、100年前のプレイエルと現代のスタインウェイを弾き比べた2014年5月のショパン・リサイタル、ワルツを中心に舞曲ばかりを集めた渡邊規久雄との「ニューイヤー・ピアノ・デュオ～人生は踊り!～」などが常に話題となり、高い評価を得てきました。

村田節子、近藤孝子、田村宏の各氏に師事し、16歳でウィーンに留学。18歳のときに一時帰国し、東京でのオール・ショパン・プログラムでデビュー後、ウィーン国立アカデミーを最優秀賞で卒業してアメリカに渡り、ジュリアード音楽院大学院、インディアナ大学など11年間に及ぶ欧米での研鑽中の1977年、アルトゥール・ルービンシュタイン自身が審査した第2回ルービンシュタイン国際ピアノ・コンクールで第3位金賞、同年の日本ショパン協会賞、翌1978年にはリーズ国際ピアノ・コンクールに入賞し、注目を集めました。その後は「プラハの春」国際音楽祭出演、東京や大阪をはじめとする国内各地や英国、ドイツ、フィンランド、ロシアでのリサイタル、国内外の主要オーケストラとの共演、ニューヨークのカーネギーホールでの演奏、渡邊規久雄とのデュオ・リサイタルなど第一線で活動を続け、『水晶の輝き』『真珠の粒立ち』『金細工を想わせるような細やかさ』と評される色彩感溢れる華やかなステージで、聴衆を魅了しています。

EXTON レーベルからショパン作品のCD「ノアン」「ノアンII」、レコード芸術特選盤にも選ばれた渡邊規久雄との2台ピアノ作品集(ラフマニノフの組曲第2番&ストラヴィンスキー「春の祭典」)をリリース。

日本大学芸術学部大学院研究所教授。

(2016年4月現在、900字)

\*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

# 寺田 悦子 Etsuko Terada (Piano)

寺田悦子オフィシャル・ホームページ <http://www.etsukoterada.com/>

(プロフィールにはホームページアドレスを記載させていただきますよう、お願い申し上げます。)

モーツァルト生誕 250 周年やショパンとシューマンの生誕 200 周年、同じ「調」の作品で一晩のプログラムを構成する”調の秘密”シリーズ、100 年前のプレイエルと現代のスタインウェイを弾き比べたショパン・リサイタル等で聴衆を魅了する寺田悦子は、16 歳でウィーンに留学。ウィーン国立アカデミー、ジュリアード音楽院大学院、インディアナ大学などで研鑽を積み、1977 年第 2 回ルービンシュタイン国際ピアノ・コンクール第 3 位金賞、1978 年リーズ国際ピアノ・コンクール入賞、日本ショパン協会賞などを受賞。「プラハの春」などの国際音楽祭出演、国内外のオーケストラとの共演、東京・大阪など国内各地、ロンドン、ヘルシンキ、ハバロフスク、リガ、ドイツ各地などでのソロ・リサイタル、ニューヨークのカーネギーホールでの演奏、渡邊規久雄とのデュオ・リサイタル等、活躍を続けています。オクタヴィア・レコードからショパン作品集「ノアン」「ノアンⅡ」、渡邊規久雄との「デュオ・ピアノで聴く “春の祭典&ラフマニノフ”」をリリース。日本大学芸術学部大学院研究科教授。毎年 8 月にはドイツのインターハーモニー音楽祭に参加し、演奏とマスタークラスを行なっています。

(2016 年 4 月現在、500 字)

# 寺田 悦子 Etsuko Terada (Piano)

寺田悦子オフィシャル・ホームページ <http://www.etsukoterada.com/>

(プロフィールにはホームページアドレスを記載させていただきますよう、お願い申し上げます。)

モーツァルト生誕 250 周年やショパンとシューマンの生誕 200 周年、同じ「調」の作品で一晩のプログラムを構成する”調の秘密”シリーズ、100 年前のプレイエルと現代のスタインウェイを弾き比べたショパン・リサイタル等で聴衆を魅了する寺田悦子は、16 歳でウィーンに留学。1977 年第 2 回ルービンシュタイン国際ピアノ・コンクール第 3 位金賞、1978 年リーズ国際ピアノ・コンクール入賞、日本ショパン協会賞などを受賞。「プラハの春」などの国際音楽祭出演、ソロ・リサイタル、渡邊規久雄とのデュオ・リサイタル、そしてオーケストラとの共演等、国内外で活躍を続けています。オクタヴィア・レコードから多くの CD をリリース。

(2016 年 4 月現在、300 字)

\*プロフィールの一部を使用する場合、日数が経過している場合は、ジャパン・アーツの校正チェックをお受け頂きますようお願い申し上げます。

株式会社ジャパン・アーツ

<http://www.japanarts.co.jp>

〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6

TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

JAPAN ARTS CORPORATION

<http://www.japanarts.co.jp>

2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,

Tokyo JAPAN 150-8905

TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092

# Etsuko Terada (Piano)

<http://www.etsukoterada.com/>

Etsuko Terada has marked the anniversary years of several composers with important concert events: in 2006, a four-evening series of the complete Mozart piano sonatas for the 250th anniversary of the composer's birth; and a concert of the complete Chopin Mazurkas and Sonatas, and a 5-recital series of Schumann's major works performed in chronological order, for the 200th anniversary year of those composers in 2010.

Currently Terada is performing the series "The Secret of Key," in which each performance consists of works in the same key, showing how a key can sound different according to the particular composer and era.

After studying piano in Japan under Setsuko Murata, Takako Kondo, and Hiroshi Murata, Terada went to study in Vienna at the age of 16. In 1977 she won Third Prize and a gold medal at the second Arthur Rubinstein International Piano Competition, and in 1978 she was a prize winner in the Leeds International Piano Competition. She went on to appear in international music festivals, perform in recital and with orchestras in Japan and other countries, and appear in duo concerts and piano recitals with her pianist husband Kikuo Watanabe.

Terada delights audiences with a sound extolled as resembling "pearl drops" and a technique praised as being "fine as a golden thread," as well as with the brilliant and glittering atmosphere she creates in her performances.

Among her numerous recordings, Terada has released CDs of works by Chopin titled Nohan and Nohan II on the Exton label. In April 2012 she and Ikuo Watanabe released a CD of two-piano works on the Triton label called Spring Festival Music & Rachmaninov, which has been highly acclaimed and named as a special selection of Record Geijutsu magazine.

Etsuko Terada is a professor of Nihon University College of Art graduate school in Tokyo.

2015/16 season only. Please contact Japan Arts if you wish to edit this biography.

株式会社ジャパン・アーツ  
<http://www.japanarts.co.jp>  
〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6  
TEL: 03-3499-8100 / FAX: 03-3499-8102

**JAPAN ARTS CORPORATION**  
<http://www.japanarts.co.jp>  
2-1-6, Shibuya Shibuya-ku,  
Tokyo JAPAN 150-8905  
TEL: 81-3-3499-8091 FAX: 81-3-3499-8092